

## ～未来創るぞ！イノベーション！！～ 「イノベーションの創出に向けた連携に係る基本合意書締結式」

令和6年12月18日(水)、米沢市役所にて「イノベーションの創出に向けた連携に係る基本合意書締結式」が行われました。県、米沢市、米沢商工会議所及び山形大学工学部の4者が、(1)ものづくりをけん引する地域、(2)新たなビジネスに絶えず挑戦できる地域、(3)若者や高度人材が活躍し定着する地域、を目指して、米沢商工会議所新会館(令和8年秋、米沢市中央一丁目に開館予定)を核として、連携して拠点の運営及び推進のためのソフト事業に取り組んでいくことで合意しました。当日は、吉村知事、近藤米沢市長、加藤米沢商工会議所会頭、黒田山形大学工学



部長が基本合意書に署名し、お祝いに駆けつけたやまがた愛の武将隊の「未来創るぞ！イノベーション！！」の掛け声とともに参加者がこがしを突き上げて、式を締めくくりました。

具体的に取り組む事業など、実施に関する必要な細目は、「イノベーション共創ミーティング(令和6年9月に同4者で設置)」において協議されますが、置賜地域のポテンシャルを活かし、新たなイノベーション創出のための取組みを進めていきます。

■地域産業経済課 産業振興担当 ☎0238-26-6092



## 「ラーメン県そば王国やまがた」 山形鉄道出前列車を初開催～貸切列車で食い倒れ！～

県では、「ラーメン県そば王国」の認知度向上及び地域ごとに特色のあるラーメン・そばの消費拡大・観光誘客による地域活性化を目的とした実証事業を進めています。1月18日(土)、やまがたアルカディア観光局(長井市)が山形鉄道(フラワー長井線)と沿線地域のラーメン・そばを組み合わせた新たな観光コンテンツとして、「ラーメン県そば王国やまがた」山形鉄道出前列車～貸切列車で食い倒れ！～を実施しました。山形鉄道で麺類が提供されるのは、今回が初めてです。

この旅行商品の定員は30名でしたが予約受付開始後早々に完売となり、県内のみならず県外からも多くの方が参加されました。車内では南陽市のラーメン、長井市のラーメンと地酒の呑兵衛セット、白鷹町のそばなどが振る舞われ、“冬の置賜、麺にまみれるローカル鉄道の旅”を楽しみました。



3月には第二弾「呑み鉄～締めはやっぱラーメンだべ～」が開催されます。

■総務課 連携支援室 ☎0238-26-6018

目次	
イノベーションの創出に向けた連携に係る基本合意書締結式	旬の山形おきたま伝統野菜あがやえフェア in WINTER
山形鉄道出前列車を初開催	「おきたま若手アーティストワークショップ」参加者募集！～米坂線復活に向けて～「霧幻鉄道 只見線を300日撮る男」上映会 参加者募集中！
地域共生社会シンポジウム 置賜初開催！	～夢に挑戦したい女性たちへ～インタビュー動画を公開
世代を超えて語り合う有意義な対話会	冬の省エネにチャレンジ
山形おきたま観光企画塾	やまがた省エネ健康住宅
「おきたま農産物利用拡大セミナー」を開催しました	雪下ろし作業・除雪作業中の事故に注意！
炭焼き体験研修を開催	冬は要注意！ヒートショックを防ごう
「花×伊達な城館ウォーク」新コース準備に向けた勉強会	3月24日は世界結核デーです
in米沢商業高校	アナサキスにご注意ください
お知らせ	
「おきたま日本酒と日本酒のおとも」リーフレット作成	04

置賜総合支庁ニュース2月号  
発行元：山形県置賜総合支庁/Vol.198

HP

総合支庁ニュースは  
県HPでも公開中！

X(旧Twitter)

置賜総合支庁X(旧  
Twitter)も活動中！

## ～つながり・支え合いのあるまちづくりのために～ 地域共生社会シンポジウム 置賜初開催！



住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創る「地域共生社会」の実現を目指したシンポジウムを令和6年12月5日(木)にシェルターなんようホールで開催し、約200人が参加しました。

置賜地域で活動を展開する5名が、若者の就労支援、住民や地域間のつながりを生む企画、住民の協力や福祉団体等の連携による買物・配食等への支援、小学校での児童見守りなどの取組みを発表したほか、意見交換では「失敗してもいい場所、話が受け入れられる場が大切」などの発言がありました。

地域のために何ができるのかを考え、小さなことでも一歩を踏み出す。今回の企画がそのきっかけになることを願っています。



■地域保健福祉課 精神保健福祉担当 ☎0238-22-3015

## ～SNSとの上手な付き合い方を考える～ 世代を超えて語り合う有意義な対話会

令和6年12月22日(日)、長井高等学校を会場に「生徒と地域の大人の対話会」が開催されました。この対話会は、「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の一環として、問題解決に主体的に取り組む契機となるよう実施しているものです。

始めに、長井高校生による、対話を重視した生徒会活動についての発表が行われました。引き続き、「SNSとの上手な付き合い方」をテーマにワークショップ形式で意見交換を行いました。SNSのメリット、デメリットや利用の際の注意点を考えることをとおして、世代を超えた交流が生まれました。

自分の考えをしっかりと述べる長井高校生と、地域の大人が一緒に語り合う有意義な対話会になりました。



■子ども家庭支援課 子育て支援・女性青少年担当 ☎0238-26-6027

## 山形おきたま観光企画塾～観光人材の育成と関係者の交流を目指して～

今年度、山形おきたま観光協議会(事務局:置賜総合支庁観光振興室)では、全6回からなる「山形おきたま観光企画塾」を開催してきました。

この観光企画塾は、置賜地域の観光資源を深掘りし、広域周遊の促進につながる旅行商品の販売に向けて考えるワークショップ等とおして、置賜を深く知る観光人材の育成や、置賜の観光関係者等の交流の場となることを目的としています。全6回をとおしての参加者数は延べ約100名となりました。

最終回の令和6年12月4日(水)は「実現力を格段に高める…マネタイズと補助金のススメ」と題して、登府屋旅館代表取締役の遠藤直人さんより講義いただきました。

セミナー終了後、受講者による観光企画塾をとおしての決意表

明を行い、「居住市町だけでなく置賜広域の魅力伝えていきたい」「この観光企画塾でつながった事業者の方々と連携し置賜広域観光を盛り上げていきたい」などの声をいただきました。

今後も置賜広域観光の推進のため、様々な事業に取り組んでいきます。



講師:登府屋旅館  
遠藤直人代表取締役

■地域産業経済課 観光振興室 ☎0238-26-6046

## 地域資源を活かした商品開発と販路拡大を目指す 「おきたま農産物利用拡大セミナー」を開催しました！

令和6年12月2日(月)、置賜総合支庁講堂で「おきたま農産物利用拡大セミナー」を開催しました。

山形県のアンテナショップである東京銀座「おいしい山形プラザ」店長の斎藤康有さんを講師に、第1部は農産加工事業者・食品製造業者等9事業者の15商品について求評会を実施しました。

第2部では「今、東京で売れている農産加工品について」と題して、実際に売れている商品とそのポイントをわかりやすく紹介いただき、パッケージをどうするかなど具体的な改善方向についてご講演いただきました。

参加者からは「売れそうなポイント、改善が必要なポイントを知

ることができた」「今後の商品開発や既存商品のブラッシュアップに反映させたい」と感想をいただきました。



第1部:商品求評会



講師:東京銀座「おいしい山形プラザ」店長  
斎藤康有さん

■地域産業経済課 農産物利用拡大担当 ☎0238-26-6042

## 「木炭作りで森づくり、雑木の山が宝の山に」炭焼き体験研修を開催

置賜地域は生産量の多さと製炭技術の高さにより、県内屈指の製炭地といわれてきました。その伝統と技術を次世代に伝えるため、置賜総合支庁では1月25日(土)、木炭文化協議会(※)と共催で炭焼きの研修を行いました。(※木炭文化の普及啓発と木炭産業の振興を目的に生産者、森林組合、関係市町、県を会員として平成7年に設立)

今回は炭焼き入門編として、地元の生産者の方を講師にお招きして、地域に伝わる製炭の技術や歴史についてお話いただいた後、実際に木炭の窯出し作業を体験しました。

大寒の一日に木炭の暖かさ(熱さ)と県内でも最高水準の製炭

技術に触れる貴重な機会を得て、参加者も大変満足した様子でした。



窯出し作業の様子



■森林整備課 普及担当 ☎0238-26-6065

## 2025年度も開催予定！「花×伊達な城館ウォーク」 新コース準備に向けた勉強会in米沢商業高校 を実施しました

戦国時代、置賜地域を本拠地とした伊達家は、領地防衛のため多数の城館を各地に築きました。山形おきたま観光協議会では、その中から選定した48か所を「伊達な置賜四十八館」として紹介しており、これらの城館跡を巡るウォーキングイベント「花×伊達な城館ウォーク」は毎年好評いただいています。

2025年版では、4月開校予定の「山形県立米沢鶴城高等学校」の商業研究部の生徒がガイドをつとめる新しいコースを追加予定です。1月は米沢商業高等学校(※米沢鶴城高校として統合予定)で、九里学園高等学校の遠藤英先生を講師に迎え、米沢鶴城高校の由来となった「舞鶴城(米沢城の別名)」やガイドの心得などについての勉強会を開催し、9名の部員が参加しました。

4月のコース本番に向けて地域の魅力を伝えようと頑張っていますので、ご期待ください！



■地域産業経済課 観光振興室 ☎0238-26-6098

## 「おきたま日本酒と日本酒のおとも」リーフレットを作成しました！



置賜地域では14の酒蔵が日本酒を醸造・販売しており、日本の「伝統的醸造」がユネスコの無形文化遺産に登録されたことも追い風となって、各社の日本酒への注目度が高まっています。また、管内の観光立寄施設では、米沢牛のほか、鯉や鮎、山形おきたま伝統野菜や山菜等、地域性豊かな農産加工品の販売も行われており、「日本酒と日本酒のおとも」として、認知度向上や購買促進のためのリーフレットを作成しました。

内容として各酒蔵の試飲、見学、直売所に関する情報や、日本酒に合うおすすめのおつまみを含めた購入できる施設の情報が掲載されています。完成したリーフレットは2月下旬から配布を進め、道の駅など県内外の観光立寄施設への設置、各種イベント等で活用する計画です。

■地域産業経済課 農産物利用拡大担当 ☎0238-26-6042

## 2月24日(月)まで！ 「旬の山形おきたま伝統野菜あがやえフェア in WINTER」



置賜の伝統野菜を使った料理や菓子を気軽に味わえる「旬の山形おきたま伝統野菜あがやえフェア in WINTER」を開催中です。

フェア期間中、管内の飲食店・菓子店14店舗が、「雪菜」「小野川豆もやし」「紅大豆」等の冬に流通する伝統野菜を使った和食、イタリアン、スイーツ等を提供しています。また、参加者の中から抽選で賞品が当たるプレゼント企画も実施しています。

1月10日(金)には、フェアを広く周知するため、参加店の一つである米沢市のレストランテ喜右工門で、報道機関等を対象にした試食会を初開催しました。オーナーシェフの我妻さん自ら伝統野菜の魅力をご紹介くださり、多くのメディアにフェアを取り上げていただくことができました。

フェアは2月24日(月)まで。ぜひこの機会に置賜が誇る伝統野菜の魅力をお楽しみください。



■農業振興課 生産流通担当 ☎0238-26-6051

## ～樹脂ねんどでつくるあなただけのミニチュアガーデン～ 「おきたま若手アーティストワークショップ」参加者募集！



置賜文化フォーラムでは、置賜地域の若手アーティストの魅力発信と、若手アーティストと地域住民が触れ合う機会を創出するため、地域住民を対象に、若手アーティストによるワークショップを開催します！

テーマは、「ミニチュアガーデン」。樹脂粘土を使用し、あなただけの小さな世界を作ってみませんか？

■総務課 連携支援室 ☎0238-26-6021

### <概要>

- ◆日時: 令和7年3月16日(日) 13:30～14:30(予定)
- ◆場所: ナセBA体験学習室(米沢市中央一丁目10-6)
- ◆講師: 石井かおり氏(AMO2024若手アーティスト奨励賞受賞者)
- ◆対象・定員: どなたでも 10名(3歳以下のお子様は、保護者と一緒に参加してください。)
- ◆参加費: 無料
- ◆内容: 樹脂粘土で好きな色・形の花を制作し、その花をモルタルの器にアレンジし、自分だけのミニチュアガーデンアートを制作します。
- ◆参加申込: 下記二次元コードより申込ください(先着順)
- ◆〆切: 3月12日(水)

参加申込みはこちら！



## ～米坂線復活に向けて～

### 「霧幻鉄道 只見線を300日撮る男」上映会 参加者募集中！

米坂線復活に向けた機運醸成を図るため、米坂線と同様に豪雨災害で被災した只見線の復旧活動に尽力したカメラマンを追ったドキュメンタリー映画の無料上映会を開催します。

事前申込制(2/13(木)17:15締切)で、どなたでもご鑑賞いただけます。

■総務課 連携支援室 ☎0238-26-6019

(1)日時:令和7年2月17日(月)

1回目 開場13:15 開演13:30

2回目 開場15:15 開演15:30

※同日2回上映。各回とも上映時間は80分、

定員50人(先着順)。

(2)場所:置賜総合支庁 2階 講堂(米沢市金池7-1-50)

申込はこちら！



## 女性が活躍できる置賜地域を目指して！

### ～夢に挑戦したい女性たちへ～インタビュー動画を公開

令和6年度男女共同参画 女性活躍推進事業として、置賜地域で女性が活躍できる環境整備を推進するため、地域で活躍する女性をロールモデルとして紹介するインタビュー動画を作成しました。

初回となる今回は南陽市金山にあるカフェ「くまきち農園」を営んでいる遠藤友紀さんです。遠藤さんは令和4年より南陽市の地域おこし協力隊となり、令和6年4月新たに南陽市金山に、地元食材を使ったカフェ「くまきち農園」をオープンされました。

カフェをやりたいと思ったきっかけ、食や農業の話、これから挑戦したいこと、働く女性へのエールなどについて、お話を伺っています。ぜひQRコードよりご覧ください。



動画は  
こちらから！

■子ども家庭支援課  
子育て支援・女性青少年担当  
☎0238-26-6027

## できることから始めよう！冬の省エネにチャレンジ



山形県では、「ゼロカーボンやまがた2050(ニーゼロゴーゼロ)」を宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを目指しています。

冬季は暖房器具の使用などによるエネルギー消費量が増える時期です。重ね着などをして、暖房時の室温は20℃を目安にする(節電効果約2%)、不要な照明は消す(節電効果約4%)、入浴は

間隔を空けずに入る(ガスの省エネ5.6%)など、家庭でできることから省エネの取組みを始めてみませんか。

なお、暖房等の省エネを行うときは、健康に配慮し、無理のない範囲でお願いします。

■環境課 環境企画・自然環境担当 ☎0238-26-6035

## やまがた省エネ健康住宅 住む人にも地球にもやさしい

山形県では、一年をとおして暖かく、涼しく、快適に暮らせる「やまがた省エネ健康住宅」の普及を進めています。

### 「やまがた省エネ健康住宅」とは？

高断熱・高气密住宅と呼ばれる住宅の中でも、県が独自に定めた断熱性能と気密性能をクリアし認証を受けている省エネ性能の高い住宅です。

### 「やまがた省エネ健康住宅」の魅力は？

住宅内の温度差が小さく、お風呂上がりも脱衣場が寒くないことから、ヒートショックを起こさない等、健康に過ごすことができます。さらに、冷暖房の効率が良いので、快適な温度を保ちながら電気などのエネルギー消費を抑えることができ、お財布にもやさしい住宅です。

補助金支援等の詳細は  
HPをチェック！



やまがた省エネ健康住宅  
やまぽっか



タテカキYouTube

■建築課 審査指導担当

☎0238-26-6091

## 雪下ろし作業・除雪作業中の事故に注意！安全対策を万全に！

例年この時期は、除雪や雪下ろしによる事故が増加します。

雪による事故原因で最も多いのが、屋根やはしごからの転落で次いで除雪作業中の転倒による事故が続きます。

年代別では、65歳以上の高齢者の雪害事故が多く、全体の7割を超えています。

屋根の雪下ろしを行う場合は、ヘルメットや命綱を装着し、2人以上で安全な作業に心がけ、除雪機による事故や屋根からの落雪にも十分注意しましょう。

総務課防災安全室では、命綱や、ヘルメット、墜落制止用器具の貸出を行っています。詳しくは電話でお問合せください。

### 〈安全な雪下ろし作業の8つのポイント〉

- ①2人以上で！ ②安全な服装で！
- ③ヘルメット・命綱を使いましょう！
- ④はしごはしっかり固定！
- ⑤使いやすい除雪道具を！
- ⑥屋根の雪のゆるみに注意！
- ⑦無理な作業はやめましょう！
- ⑧順序を守って、足場は特に注意！



×悪い例

■総務課 防災安全室 ☎0238-26-6007

## 冬は要注意！ヒートショックを防ごう

冬は入浴事故が多くなります。要因の一つがヒートショックです。

ヒートショックは、急激な温度変化により血圧や脈拍が変動することで、身体に様々な反応が起こります。その結果、一時的な意識障害や脳卒中・心筋梗塞等が生じ、転倒や浴槽で溺れる等、命に関わることもあります。特に高齢の方は注意が必要です。また、体調不良時、飲酒や食事直後、睡眠薬等の服用後、早朝等の入浴は避けましょう。

入浴は疲れを癒しますが、一歩間違うと命の危険を伴います。お風呂の入りに方注意しましょう。



### 〈ポイント〉

- ◆脱衣所や浴室を暖める
- ◆かけ湯をする
- ◆お風呂の温度は41度以下にし、お湯につかる時間の目安は10分
- ◆入浴前後に水分補給
- ◆同居家族がいれば入浴前に一声かけて、入浴中の家族を気にかける

■保健企画課 健康長寿推進担当 ☎ 0238-22-3004



## 『3月24日は世界結核デーです』～結核という病気を知っていますか？～

日本における結核の患者数や罹患率(人口10万対の新規患者数)は年々減少し、令和5年の患者数は10,096人、罹患率は8.1でした。令和3年以降、結核低まん延国の水準(罹患率10.0以下)を達成していますが、欧米先進国と比較すればまだ高い状況にあり、結核は昔の病気ではなく、今でも日本の主要な感染症です。

世界保健機関(WHO)では、細菌学者のロベルト・コッホが

1882年に結核菌の発見を発表した日にちなみ、3月24日を「世界結核デー」としています。結核のまん延防止には早期発見が重要です。自覚症状がなくても年に1度は健康診断(胸部X線撮影)を受けましょう。また、痰や咳、体のだるさが2週間以上続く場合、早めに医療機関を受診しましょう。

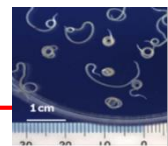
■保健企画課 感染症対策担当 ☎ 0238-22-3002

## アニサキスにご注意ください

アニサキスは、カツオ、サバ、サンマ、イワシ、サケ、イカなどの魚介類に寄生する長さ2～3cm、白い糸のように見える寄生虫です。アニサキスが寄生している魚介類を生で食べると、胃や腸壁に刺入し、数時間～数十時間後にみぞおちの激しい痛み、嘔吐などを引き起こします。

アニサキス食中毒の発生件数は増加傾向にあり、令和5年は全国で432件発生し、最も発生件数の多い食中毒です。右記の点に注意し、予防に努めましょう。

■生活衛生課 食品衛生担当 ☎ 0238-22-3740



### 〈予防方法〉

- 1新鮮な魚を選び、速やかに内臓を取り除く。内臓を生で食べない。
  - 2目視で確認する。
  - 3加熱する。(60℃で1分以上)
  - 4冷凍する。(－20℃で24時間以上)
- ※酢、しょう油、わさびなどでは死滅しません。

### 担当者のひとことコーナー

今年度も残り少なくなり、令和6年度置賜総合支庁ニュースは今回が最終号となります。興味を持って読んでいただくにはどうしたらいいか、各担当課とも協力しながら試行錯誤した一年間でした。ニュースを通して置賜地域の魅力や総合支庁の取組みを少しでもお伝えできていれば嬉しいです。一年間どうもありがとうございました！

置賜総合支庁総務企画部総務課企画調整担当  
住所：米沢市金池7丁目1-50  
TEL:0238-26-6100 FAX:0238-24-1402

